

2009年7月27日

各 位

ワイス株式会社
あすか製薬株式会社
(コード番号 4514 東証第一部)
武田薬品工業株式会社
(コード番号 4502 東証第一部)

**経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ®パップ 70、140」の販売権許諾契約
および販売委託契約について**

本日、ワイス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 マイケル・ゲトラー、以下「ワイス」）とあすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 山口 隆、以下「あすか製薬」）は、ワイスの経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ®パップ 70、140」（以下「セルタッチ」）に関する販売権許諾契約を締結しました。

また、同日、あすか製薬と武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長 長谷川 閑史、以下「武田薬品」）は、セルタッチの販売およびプロモーションに関する委託契約を締結しましたのでお知らせします。

これらの契約に基づき、本年10月から、ワイスに代わり武田薬品がセルタッチのプロモーションを実施することになります。

なお、特約店への販売はこれまでどおり武田薬品が継続して行います。

ワイスではこれまで、関節リウマチ、癌・血液、ワクチンといった重点戦略製品に特化する方針を打ち出しており、この方針に沿って同社が有するセルタッチについて、販売・プロモーションの委託先を検討してまいりましたが、今般あすか製薬に販売権を許諾することで合意しました。この契約によってワイスは、重点戦略製品への活動をより一層強化することが可能になります。

一方、あすか製薬では、セルタッチの主な処方元である整形外科領域における活動が限定的であることから、プロモーションについては武田薬品に委託することとし、同社ではセルタッチの武田薬品への物流業務に特化することにしました。

武田薬品は、関節リウマチ治療剤「エンブレル®」（ワイスと共同販売）・骨粗鬆症治療剤「ベネット®」のプロモーションを通じて整形外科領域に強固な基盤を有しており、セルタッチのプロモーションを展開することで、同領域での更なるプレゼンスの向上を図ることができるものと考えています。

以上

本件に関する問い合わせ先

ワイス株式会社 コーポレートアフェアーズ TEL 03-6420-6907

あすか製薬株式会社 法務広報部 TEL 03-5484-8366

武田薬品工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 TEL 03-3278-2037

[参考]

セルタッチについて

セルタッチは、ワイスと帝國製薬が共同で開発し 1993 年に発売を開始したパップ剤で、フェルピナクを含有する経皮吸収型の非ステロイド系鎮痛消炎剤です。貼付皮膚部位より有効成分が炎症部位に浸透し、速やかに鎮痛・消炎効果を発揮します。香料を含まない無臭性の製剤であることが特長です。現在、セルタッチパップ 70 (10×14cm) と大判サイズのセルタッチパップ 140 (20×14cm) の 2 種類を発売しています。

08 年度販売金額：113 億円

<ワイスについて>

ワイス株式会社は国内医薬品業界のリーディング・カンパニーをめざし、「Leading the Way to a Healthier World ～健康の最先端を目指して～」を企業理念に掲げ、人々の生活を向上させる医薬品とヘルスケア製品を社会へもたらし、優れた価値提供を実現して参ります。東京に本社を構え、全国に約 1,000 名の従業員を擁しています。

詳細については、<http://www.wyeth.jp> をご覧ください。

<あすか製薬について>

あすか製薬は、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」の経営理念のもと、特定領域集中型研究開発企業として、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、革新的で独創的な医薬品を開発・提供することで、広く社会に貢献することを目指しています。従業員数は 1,042 人であり、内科（消化器・循環器・甲状腺）、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科領域に製品を展開しております。

詳細については、<http://www.asaka-pharma.co.jp/> をご覧ください。

<武田薬品について>

武田薬品は、研究開発型の世界的製薬企業を目指して、自社研究開発を強化するとともに、ライフサイクルマネジメントの推進、導入・アライアンスの積極展開を通じて研究開発パイプラインの充実を図るとともに、経営理念である『優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する』の実現に努めています。

詳細については、<http://www.takeda.co.jp/> をご覧ください。